



福井県 永平寺町

第55号

令和元年8月2日発行

# 議会だより



がんばる団体

松岡バドミントン  
スポーツ少年団

(※ 最終ページに紹介記事)



町民バドミントン大会で大人顔負けの技術を披露  
この日上位入賞者が表彰されました

2 ~ 3 高齢ドライバー事故ゼロの取り組み

11 ~ 19 そこが聞きたい! 議員13人が一般質問

20 ~ 21 議会と語ろう会 4月23・24・25日実施

【ダイジェスト版】

永平寺町議会  
facebook



永平寺町議会

検索



特集

# 高齢ドライバー

# 事故ゼロ

# の取り組み

高齢ドライバーによる事故が多発しています。

本町の65歳以上免許取得者は、3,372名（5月現在）で、免許返納者は平成29年度54名、30年度62名、今年度27名（5月現在）と少しずつ増えています。

政府は75歳以上を想定し、自動ブレーキなど安全機能が付いた車種のみ運転ができる、高齢ドライバー専用の新しい運転免許をつくる方針です。自動車メーカーも、自動ブレーキやアクセルとブレーキの踏み間違いを防止するシステムを実用化しています。にわかには高齢者の交通事故対策がクローズアップされています。

東京都では急発進防止装置を9割補助する方針です。福井県でも、費用の半額（上限3万円）を補助するとのこと。

県や警察等でも様々な取り組みをしています。そこで、その一部について議員が実体験してみました。

実体験  
1

## 免許証更新時の「高齢者講習」

70歳以上74歳以下で運転免許証の更新をされる方は高齢者講習の受講が必要です。

70歳以上の運転免許取得者は、免許証更新時に「**高齢者講習**」を受講しなければなりません。

この「**高齢者講習**」を6月に指定の自動車学校で受講しました。

道路交通法の改正点などの学習、動体視力・夜間視力・水平視力の検査があり、実際に車を運転し指導員から運転技術について助言を受けました。約2時間の講習です。

高齢者講習室

約1時間の実地講習。これまで何十年も運転しているため、自分では正しいと思っていることが間違いだったと気付かされることや、もっとこうしたら良いという助言をもらう機会になりました。

（川崎 記）



“運転に不安を感じている方は、この機会に免許の自主返納を考えてみてはいかがでしょうか!!” のパンフレットを受け取りました。やがて免許の自主返納を考えなければなりません。



実体験  
2

## シルバー・セーフティドライビング

1グループ3人で自動車学校のコース内を運転。指導員が運転の状態を診断し安全運転指導を行います。

県警察本部が高齢運転手を支援する取り組みの一つ「**シルバー・セーフティドライビング**」(無料)に、奥野・松川・滝波の3名が体験しました。

会場は勝山自動車学校で、講義と実習など約2時間のコースでした。自動車学校での運転は数十年ぶり、非常に緊張しながらの実習でした。その後、同乗した教官から総評をいただき、最後に受講説明書を受け取りました。



酒酔体験ゴーグルを付けての歩行実験。やっぱりまっすぐには歩けませんでした。



自分の運転技術をチェックできたことは貴重な体験でした。気軽に受けられますから3人一組で申し込んでみてください。勝山では、シルバー人材センターの会員さんが受講していました。（滝波 記）

運転免許証をとったのは19歳の時だったので、半世紀ぶりの自動車学校でのテストとなりました。前半は座学だったが、やっぱり実地は緊張した。いつも軽自動車しか乗っていないので、普通自動車でも私には大きすぎて少し怖かった。それでも何年かに一回、教官から評価を頂いて、自己の技術の弱点を知るのには役に立つ。無料ということもあり、ぜひお勧めします。（松川 記）

■受講申込先  
福井警察署交通2課 TEL:0776-52-0110  
■申込期間  
令和元年10月1日～令和2年1月30日



皆様もご近所のご友人とお気軽に受講してみてください。

## 町の取り組み

他自治体では様々な取り組みが行われています。本町では、急発進防止装置取付け補助制度や、住民によるデマンド式ワゴン車運営事業などの可能性を検討しています。

承認第2号  
平成30年度一般会計補正予算専決処分の承認について

総額 **△4,393**万円

【主な項目】

**一人親世帯保育料還付金**

保護者負担金額の徴収手続きに誤りがあったため

**106**万円

**国体・障スポ大会町実行委員会負担金**

平成30年開催の国体・障スポ大会の費用に減額が生じたため

**△4,500**万円

主な質疑応答

◆子育て支援課

問 保育料還付に至った原因は。対象先には十分説明し納得して頂いたのか。

答 H29年度から適用すべき一人親世帯に対する保育料軽減制度の適用段階の算定を誤ったもの。対象27世帯には、ご説明しお詫びを申し上げ、ご理解を頂いた。

◆学校教育課

問 松岡小学校の大規模改修工事はなぜ予定した交付金の交付が受けられなかったのか。

答 松岡小学校の大規模改修工事は当初計画でH30年度に渡り廊下、H31年度に北校舎を各単年で改修を予定したが、経費節減と工期短縮のため併せて発注した。北校舎分の財源として国の学校施設環境改善交付金を予定したが、H30年度国補正では防災関連が優先されて交付決定に至らなかったため、国と交渉し合併特例債を認めて頂いたもので、一般財源と合わせて財源組替するもの。

◆国体推進課

問 4500万円はかなりの金額だ。支払い方法に課題は無かったのか。

答 「福井しあわせ元気」国体・障スポ大会町実行委員会として事業報告と会計監査の承認を頂いており、適切な執行を確認して頂いている。総会では決算書・監査報告もお示し、審議の上事業清算の承認を頂いた。支払いが適切に完了したことによる減額である。

令和元年 第2回定例会報告

議長 江守 勲

令和元年第2回永平寺町議会定例会は、5月27日(月)から6月13日(木)までの18日間開催されました。慎重に審議を行い、可決した内容は次の通りです。

第2回定例会議案

報告第1号 平成30年度一般会計繰越明許繰越計算書の報告について	報告	議案第32号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第2号 平成30年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第33号 母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第3号 町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認	議案第34号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第29号 令和元年度一般会計補正予算について	可決	議案第35号 字の一部区域の変更について	可決
議案第30号 令和元年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第36号 救助工作車の取得について	可決
議案第31号 令和元年度下水道事業特別会計補正予算について	可決		

議案への賛否一覧

議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席)※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
承認第3号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等10件については全員賛成です。

承認第3号 町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

国の地方税法の一部改正による町税条例の一部改正

議案への  
賛否討論

承認第3号  
町税条例の一部を  
改正する条例の専決  
処分の承認について

反対討論 金元 直栄  
今回の町税条例の改定は、第一に低所得者には負担の重い消費税増税分の収入を、低所得者や車を買った人たちに回すものとなっている。  
第二は法人事業税の一部を地方に配分するということが、地方交付税の根本を国の一存で増減させることに繋がる等を含むことから反対する。

賛成討論 奥野 正司

国の地方税法の一部改正の法律や政省令が先に公布され、町税条例をそれに適合させ、全国に認めた制度を本町にも施行する専決処分。ふるさと納税の制度を見直し、住宅ローン控除や単身児童扶養者の非課税措置拡充、軽自動車環境性能指導入には消費税対策もあるが、即ち低所得者の生活を乱し不公平拡大とは考えない。本件に賛成。

議案第29号  
令和元年度6月補正予算について

総額 **1億856**万円

【主な項目】

**森林環境譲与税関連事業**

森林整備および木材利用の促進と普及啓発を目的

**400**万円

**プレミアム付商品券事業費・事務費**

低所得者と子育て世帯の消費税増税対策

**2,226**万円

(消費税10%対策)

**公衆無線LAN整備事業**

災害時を見据えた庁舎内インターネットの整備

**726**万円

**シェアリングエコノミー活用推進事業**

交流人口拡大を目指し、立命館・早稲田両大学と協働事業

**999**万円

**地域未来投資促進事業**

地域経済牽引事業「永の里プロジェクト」へ補助

**1,000**万円

**地域コミュニティ活動支援事業**

集落センター補助 新築2施設 改修2施設

**3,672**万円

報告第1号  
平成30年度一般会計繰越明許繰越計算書の報告について

総額 **3億8,333**万円

平成30年度内完工が無理なもの次年度繰越明許費報告

【主な項目】

**町立診療所整備事業**

令和元年8月開業予定の町立診療所

**1億3,459**万円

**ため池改良工事(轟区)**

**4,639**万円

**松岡小学校校舎**

令和元年7月完成予定の改修工事

**1億8,004**万円

## 6月補正予算主な質疑応答

### 一般会計補正予算 第1審議

#### ◆総合政策課

**問** シェアリングエコノミー活用推進事業、具体的には。

**答** 体験型観光プログラムを5件程度予定している。

**問** 移住支援事業、最終登録目標設定は。

**答** 平成31年4月現在の町内企業のおよそ12社だが、1名の求人でも充足されると登録が抹消される等変動するため、登録数の目標設定はせず。

**問** 地域未来投資促進事業「永の里」本件事業者による事業進捗状況を含めた事業説明を。

**答** 事業者と日程等を打ち合わせ、会期中に実施したい。

#### ◆福祉保健課

**問** 永平寺温泉禅の里の浴槽内タイルの一部剥離、浮き上がりはどの様に検査したのか。

**答** 打診検査で浮き上がりを確認した。

#### ◆農林課

**問** 森林環境譲与税は森林整備や森林整備を促進するために使用する。とした用途の決められた目的税、



工事が進む永の里（西エリア）

は当初も今も変わっていないと認識している。完成後の町の支援は、条例に基づく用地取得の一部助成や環境整備の助成金がある。また、地域未来投資促進法に基づき、一部の建物やその敷地、償却資産等に対する固定資産税に対し、3年間課税免除されることになり、その75%が後年度交付税措置で国より補填されることになる。固定資産税では、土地だけでも年額百数十万円の増収となり、今後建物等も何棟か建設されれば、さらに固定資産税の増収となる。協力して取り組みたい。地元の理解を得るために事業者には地元への丁寧な事業説明をお願いしている。地元から要望されている「永の里」予定地の中を通る町道の拡幅

事務用消耗品やドローン購入は目的外にならないか。

**答** 森林整備や森林整備を促進するための調査や事務諸経費に充てるもので目的に沿う。また、林道維持管理事業にも150万円計上している。

### 一般会計補正予算 第2審議

#### 1. 地域未来投資促進事業

#### ◆総合政策課

**問** ①地域経済牽引事業者が行った補助事業の結果報告は受けているのか。②牽引事業者への補助金が、事業者が委託した他組織へ支出されていても事業整合性はあるのか。③発酵文化研究協議会での研究開発実施報告・結果確認を行政は行っているのか。④3年続くこの交付金事業、行政はブランド化推進計画策定事業で具体的にどの様な成果を目指すのか。⑤3年目の今年のマーケティング戦略策定業務、事業者が目指す取り組み成果は。

**答** ①別紙の実績報告書を各年提出頂き、年度成果を確認している。②発酵文化協議会で発酵文化について様々な研究を行っていく中で、発酵食品・文化の情報発信が弱いので、その発信拠点として「永の里」



工事が進む永の里（東エリア）

工事の概算事業費は、現在設計中であるので後日報告させて頂きたい。

この地域未来投資促進法に基づく事業は企業誘致の一環。企業誘致を行うと雇用が生まれ、建物が建ち、税収が増加する。それを住民サービスに還元し町の活性化の原動力になる。地域経済牽引事業者として県が認めた企業の事業を国が半額、町が半額補助をして、地域経済牽引事業を推進することにより町の交流人口の増加が見込まれる。交流人口が増加すれば多くの企業が集積し地域の賑わいを取り戻す。

決して特定の企業の便宜を図るものではなく、将来成長が期待できる分野での需要を区域内に取り込む事により、地域の成長発展の基盤を整えることを目指すもので、地域未来投資促進法の狙いに合致した事業者に対して、促進法の手順に従ってやっていく。法に基づき認定され、地域の成長発展の基盤を築くものであれば、他の企業でも同じくしっかりと支援していく。

企業進出用地整備を行政が行う事を検討した事もあるが、コストの面、売れ残りの際の不良債権化のリスクを考えると、今回はこうした形になった。町道拡幅は既存町道を拡幅する

ると考える。

**問** 整備費の付いた東エリアの工房棟、ここへは地元の方も含めた協議会メンバーが入るのか。協議会メンバーが「永の里」プロジェクトにも参画すると理解すればいいのか。

**答** ショップエリアはハード的なもの。協議会ではそこでのアイデアをもとに商品開発を行うソフト的な側面での貢献が多いと考えており、発酵文化協議会の方がショップエリアへ入る可能性もあるが、必ず入らなければならないという位置づけではない。

**問** 31年度の計画策定事業、戦略策定事業、工房棟整備の補助金はどこに交付するのか。

**答** 牽引事業者に交付する。  
**問** ①この事業計画区域の中にある町道整備の事業費はどれくらいになるのか。②計画内容の地元への時期に応じた進捗説明が必要と思うが。③この地方創生推進交付金事業が完成した後、町がねらう企業誘致にはどういった支援があるか。④企業誘致のときの用地確保について、行政主導はどう考えるか。

**答** 町道の拡幅工事は地元区からの要望に沿うもので、今回の「永の里」事業とは切り離して考えて頂きたい。次に本計画の核となる発酵文化の発信拠点という位置づけ

地元要望に対応するもので、拡幅分の用地は企業が地域貢献の一環として提供する。また下水道整備については企業が施行することになっている。全国1750の自治体が企業誘致を進めていく中で、町としては他自治体と比べて企業誘致しやすい環境を作ろうと、地域未来投資促進法を利用できる環境を整備したもので、既存の町独自の企業誘致支援制度と併せて進めていきたい。

#### 2. シェアリングエコノミー活用推進事業

#### ◆総合政策課

**問** TABICAサイトへアップした後の商品の更新に町はどの様に関わるのか、支援はあるのか。ホストとTABICAサイトをまちづくり会社がコーディネートすることにより仲介手数料を収受することで、町づくり会社の増加業務コストは賄えるのか。

**答** 今後のこととしては、町はまちづくり会社が、この仲介手数料でホストとサイトを繋ぎ運営出来るような仕組みを作りたいと考えている。早稲田・立命館の両大学は今回のこの総務省支援事業の採択が無くて永平寺町内でシェアリングエコノミー事業に取り組んでいくと聞いており、来年度以降もコ

#### 3. 移住支援事業

#### ◆総合政策課

**問** 全国版の移住・交流推進機構（JOIN）のホームページでは全国の市町村の移住支援・子育て支援・住宅取得支援とか移住・定住の支援策情報がまとめて入手できる有力なホームページ。福井県では福井市とおおい町のみ掲載である。他市町に劣後しないよう永平寺町もこうしたホームページを利用して、U・イターン支援情報を発信すべきと思うが。

**答** 提案を受けて掲載を目標に費用等調べてみたい。



永平寺町版  
シェアリング・エコノミーの取り組み

議案第31号  
令和元年度下水道事業特別会計補正予算について

総額 **710**万円

【主な項目】

**中央浄化センター脱水機、最終汚泥沈殿池掻寄機故障修繕**



中央浄化センター脱水機

**◆下水道課**  
問 修繕費としては大きい、故障はいつ分かったのか。  
答 本年1～2月の運転中の点検で脱水機圧搾ろ布駆動装置に経年劣化、汚泥沈殿池掻寄機にオイル漏れが判明した。修繕費は脱水機が561万円、掻寄機が149万円。  
※今回修繕する装置の耐用年数は一般的に掻寄機17年、脱水機20年程度といわれている。

下水道事業特別会計

常任委員会報告

本委員会は6月10日に開催し、次の内容を慎重に審議した。  
1. 本定例会委員会付託議案（1件）  
全国知事会「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願について  
①他市町の意見はあくまでも参考として、全議員で勉強会を開催することし継続審議で議了。  
2. その他協議事項  
①事務事業検証について  
12月議会にまとめができるよう、各グループによる活動・報告・意見交換等を行い、毎月の定例委員会を開催し共有することと議了。  
②当委員会年間テーマについて  
議会と防災対応（議員の防災マニュアル）永平寺町議会防災対策・支援行動マニュアル（案）等において各委員に説明・熟読・確認。次期7月・8月の委員会で意見交換し、視察研修を含め勉強会を重ね、当町議会議員としての防災に対する関わりを全議員と共有できる対応を



水防訓練の様子

提案できるようにすることで議了。  
③視察研修について  
（当常任委員会の視察研修）  
各委員の意見より、年間テーマに掲げる「議会としての防災対応について」、実際に災害を受けて行動した先進地の視察研修を行うことで議了。  
④その他  
永平寺町における学芸員の必要性について  
本町における現状を鑑み、町の歴史等文化遺産の保全等を傳承していくことは本町にとって大変重要。町の文化遺産等を観光客に紹介する観光ガイド等に学芸員等は必要ではないかと、重要なことだと思っております。委員等で、委員会等区別なしに各議員が検証することと議了。

総務産業建設常任委員会

委員長 中村勘太郎

米軍基地負担に関する提言  
意見書提出は継続審議

自由討議

議案第29号  
令和元年度一般会計補正予算 第3審議  
地域未来投資促進事業「永の里」プロジェクト

金元 直栄

住民がどうなっていくのか不安に思っているのに、開発者からの説明はない。町が助成するのだから、町としてこの点は指導すべきだ。第2は、事業中、条件の研究施設が説明の中からなくなっている。問題にはならないか。いずれにせよ、開発者は説明責任を果たすべきだ。

川崎 直文

地域未来投資促進事業の交付金対象の『「永の里」プロジェクト』は、地域経済牽引事業。このことをしっかり捉え、地域の経済を牽引する視点で事業の進捗を管理すべき。『「永の里」プロジェクト』が今後、変更されるとの見解が出た。計画変更時にはその都度、業者、行政、地域、地元と情報をより一層共有しなければならない。

上田 誠

この事業は地域の経済を牽引し、若者や住民の雇用促進、交流人口増から人口増加を当初の目的とし支援するのである。しかしながら発酵文化として参画団体の具体性や内容的に不安がある状況。  
住民の期待や地域の未来を語れるよう、行政は中間に立ち、積極的に説明と連携を図るよう、議会として提言が必要。

滝波 登喜男

下浄法寺地区の住民は、ご先祖から受け継ぐ土地を地域発展のため売却という選択をしているのだから、開発業者は地元民に丁寧な説明を行政が求めて欲しい。

長岡 千恵子

事業目的がテーマパークである。その事業内容が具体的に示されていない。それでは、数年後には廃業して広大な荒地になる前例が多々ある。地元は不安である。行政は、事業者に対し将来的に継続可能な事業であることを明確に説明するよう指導助言すべき。

酒井 和美

市場動向は年々変化するため事業開始時点の情勢に合わせた経営が大事。現段階で計画を固めさせては事業の継続可能性が低下する。事業者に自由を。テナント誘致が県外事業者に偏向する場合には、常温・長期保存できる発酵食品の強みを生かし、県内発酵食品の販売陳列棚を設ける等、地元企業への販路開拓機会提供の提案を。

酒井 秀和

当該事業者の意向を尊重し住民への説明はもう変わらないところまで待って欲しい。当該事業者は過去2年間の事業報告を適正に行っており、今年度においても地域経済牽引事業の3点の要件（地域特性・差別化・経済効果）における高いKPIを達成するために計画ありきにならないよう事業成功に向けて調査研究を進めている。

議案29号は採決され原案通り可決成立となったが、議長閉会挨拶において次の提言となった。

議長付言：令和元年度一般会計補正予算に際し、議会として次の点にご留意頂けますようお願い致します。

- 地域未来投資促進法「永の里プロジェクト」事業に於きまして、
- ① 住民に対し十分な事業説明がなされるよう、行政からも事業者に対して申入れをして頂きたい。
  - ② 交付金対象となる事業に就いては、行政がその進捗を把握し、その都度議会に説明して頂きたい。
- 以上の2点を申し添えます。

# 6月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!**

問&答

一般質問：目次

- 長岡千恵子 … 11P 伊藤 博夫 … 16P
- 酒井 秀和 … 12P 齋藤 則男 … 16P
- 中村勘太郎 … 12P 上田 誠 … 17P
- 朝井征一郎 … 13P 金元 直栄 … 18P
- 松川 正樹 … 14P 滝波登喜男 … 18P
- 酒井 和美 … 14P 奥野 正司 … 19P
- 川崎 直文 … 15P

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

## 問 ラッキーの跡地売却どうなるのか

### 答 解体時期、その後の利用も未定



長岡千恵子議員

**問** ラッキーは8月には解体され売却されると聞く。どうなるのか。

**商工観光課長** 解体時期は未定。再利用についても正式に決まっていないので、報告できない状況ではない。

**問** 高齢者の一人暮らしや老々世帯が増加している。その方々は、食材を買い調理しても食べきれない。調理する労力も大変。食べ残した物を何日も食べるのは、食中毒の危険もある。町民にとって必要なのは、すぐに食べられる物を必要な量だけ買えるお店である。

◆翠荘の活用は  
問 10月に松岡放課後児童クラブが松岡小学

◆松岡公民館に改修工事は終了か  
問 トイレを洋式に改修工が必要では。  
副町長 洋式トイレは各階に1つある。公民館の利用者の多くが高齢者なので、トイレの洋式化には前向きに取り組む。

決まっていない時期なら、出店を検討している企業にお総菜コーナーの開設を交渉できないか。  
商工観光課長 メンテナンス費用や維持費が発生するので女性起業家の方に話をすることは必要。交渉は当事者となる。  
町長 既存の食品店やスーパーを含め普段からどう支援するかも協議する。



若さを保持、健康年齢の延伸を目指し筋力トレーニングに汗を流す高齢者達

問 筋力トレーニングが翠荘に移転する時期とその場所は。  
町長 10月から11月に翠荘の1階の部屋に移転。



校内に移転する。移転後は児童館のみの利用か。  
子育て支援課 移転後は松岡児童館と松岡子育て支援センターの2つが活動する。

## 常任委員会報告

### 学校教育方針について意見交換

教育民生常任委員会 委員長 上田 誠

- 6月10日全員出席で開催し、次の内容で意見交換した。
- ① 学校教育方針について  
・「礼の心」を重んじ夢や希望を持って学び行動力の育成を重点目標に掲げている。  
問 教育目標の成果・評価と子ども目線の評価や声は。  
答 スクールプランを掲げアンケート等、数値化し地域学校協議会で意見や評価を聞き、保護者にも示している。  
問 不登校生の対応は。  
答 各学校に支援員の配置、適応指導教育など生徒に寄り添って対応。
- ② 町文化財行政について  
・現在学芸員が欠員。文化財保護委員会や専門家を交え方針を決める。  
問 古墳文化だけでなく宗教文化や人材育成を。  
答 出来る範囲で対応し、県や専門家を交え方針を決める。
- ③ 幼稚園・幼稚園再編の答申について  
・子どもの数が減る現状の中、何パターンかのシミュレーションをつくり、方向性を検討していく。  
問 小学校区での小規模・適性宅地の検討など地域づくりのアクションの考えは。  
答 総合的に検討、判断して対応する。
- ④ 事務事業検証について  
・担当課と協議（ヒアリング）し次回全員で共有
- ⑤ 行政視察について  
8月上旬に長野県方面で適任地を視察
- ⑥ 町内視察について  
・5月23日駅なかカフェを視察。町地域包括支援センターと意見交換  
・6月24日100才体操（吉野堺）、筋トレ（開発センター）を視察。町内の活動状況を把握する。

## 議会改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

4月25日全委員出席のもと開会。下記通り3項目の課題について協議した。

1. 議員報酬 全国町村議長会最終報告について検討、今後の流れと住民意見の反映について協議。委員からは政策提言等さらなる実績を高めるべき等意見が出された。
2. 本会議主義 3月定例会評価をもとに協議。また、本会議主義への移行にともない変更を取り決めていた事務事業評価について、各委員会3つのテーマを定め、実行計画および議員検証を定期的に行い、その都度委員会報告することの具体的な計画を定めた。

委員会	担当チーム	テーマ
総務産業建設常任委員会	松川、川崎、江守	自動走行推進事業（総合政策課）
	中村、酒井秀	有害鳥獣対策事業（農林課）
	伊藤、酒井和	ブランド戦略推進事業（商工観光課）
教育民生常任委員会	奥野、齋藤、朝井	一般廃棄物収集運搬費（住民生活課）
	金元、長岡	一般介護予防事業（福祉保健課）
	滝波、上田	学校給食管理運営諸経費（学校教育課）

3. 議会の電子化 クラウド型グループウェアの利用促進のため研修会開催について協議した。

# 問 登校下校を防犯カメラ設置で守る

## 答 子どもを見守る安心、安全のために設置を



朝井征一郎 議員

**問** 通学道路の安全対策について、歩道の安全確保に取り組み、子どもの命を交通事故から守るためにも道路沿いに防犯カメラの設置を。

**総務課長** 防犯カメラの設置については、自治会等で設置および管理するのに掛かる費用の一部を補助する制度を検討している。

**問** 今、見守り隊のな

り手の減少が懸念される中、機械の力をかりて犯罪の芽を摘む狙いとして、過度な監視、プライバシーの侵害にならないよう細心の注意を払いながら、子どもたちの安心、安全のためにも、一連の事故を教訓に、通園や散歩のときの安全確保に取り組み必要がある。

このカメラの設置で、登校下校時や放課



通学路

後遊ぶとき、児童・生徒ら住民が安心して過ごせるために、公共施設にもぜひともこの防犯カメラ設置を。

**町長** この防犯カメラは、これから担い手の皆さんがいなくなってくる中、必要な技術

【その他の質問】  
**問** 学校施設での災害情報の伝達方法について。町全小中学校で、緊急地震速報通報などをリアルタイムで発信できるシステムはどうか。

**答** 全国瞬時警報シ

ステム（Jアラート）と防災行政無線を連動させ緊急地震速報を含めリアルタイムで、各学校に設置されている防災行政無線端末で受信できる体制になっている。

い。がどうか。  
**総務課長** 行政と地域の役割分担が必要。要望 事故が起こってからでは遅い。安心・安全で平和な暮らしを提供するために

【その他の質問】  
**問** 永平寺町観光光アイドホームページの進捗は。  
**答** 5月連休前から徐々に更新してい

【その他の質問】  
**問** ボランティアアガイドの進捗は。  
**答** 永平寺伽藍内アガイドの研修体制を協議中。

る。警察関係機関へ引き続き要望を行っていき。  
**問** 2丁目地係の三差路から五松橋の拡幅整備を期待するが。  
**建設課長** 都市計画道

路とし幅員8mの道路計画が決定され、H24年より県へ要望しているが、現在、この周辺の90mが未整備。この間の道路幅員が大変狭い上にカーブ曲線で見

通しが悪い実情だ。福井大学医学部附属病院に通じ、緊急車両のアクセス向上および通行者が安全で安心な道路利用が図られるよう引き続き要望する。

# 問 平和な暮らしを守りましょう

## 答 待避所は道路管理者と協議する



酒井 秀和 議員

**問** 永平寺町民指標に「平和な暮らしと自然を守りましょう」と謳われている。  
しかし、昨今国内では悲惨な事故が相次いでいる。  
交通事故の2次災害として歩行者や信号待ちの人々を巻き込む事故が後を絶たない。当町では運転者と歩行者両方を守るための環境整備を早急に対応してほしい。

**免許返納が進まない、できない理由は。総務課長** 当町では車がないと移動の不便を感じており、移動手段として車に依存している。



歩行者の安全確保がされた交差点

**総務課長** 新たなスペース確保が必要。道路管理者と協議する。通学路の見直しも視野に入れる。

**問** コミュニティバスの待合所設置を求めた

**問** 今後、超高齢化社会を迎えるに当たり、どう考えているのか。  
**総務課長** コミュニティバスの利用促進を図るため、バスの乗り方教室やマイ時刻表作成支援、現在検討中の「デマンド交通」の取り組みについて協議を進めている。

**問** 歩行者の安全確保のため交差点への待避所設置を求めるがどうか。

# 問 通学路の安全が急務

## 答 急いで案を考え、次年度に向け対応



中村勘太郎 議員

**問** 事故防止安全対策で、行政は町内全域において、取り組んでいるのか。  
**学校教育課長** ソフト面では、各学校教員が児童の下校に対し引率し、危険箇所や駆け込み所などを下校指導、ハード面では、毎年、通学路安全推進会議を行い、PTA連合会の教育環境改善要望書に基づく現場点検を行い回答書により示している。

**問** 町内全域で、最も危険な交差点等通学路は何力所あると把握されているのか。  
**学校教育課長** H30年度の要望数は15ヶ

所で、施工済みが3カ所、今年度で施工が終了する箇所が6カ所で、残りの6カ所は翌年度以降に実施、または施工予定なしの状況。  
**問** 最も危険な通学道路の有効な事故防止を図る安全対策は適切な対応だったのか。交差点によるビデオ（防犯）カメラ等で定期的に観察し実態を把握できないのか。  
**町長** 今、新技術を入する時代、急いで案を考え次年度に向け対応できるようにやっていきたい。

**問** 五松橋から役場方面に向かう神明2丁目地係の県道中川松岡線の三差路交差点の安全対策が急務だ。早急な安全対策を。  
**総務課長** 毎年、神明地区の区長および地域の方々から信号機の設置等について要望があ

# 問 幼稚園・幼稚園施設再編の検討は

## 答 本年度内に再編計画を策定する



川崎 直文 議員

**問** 提出された「永平寺町幼稚園・幼稚園施設再編について(答申)」をどう捉え、再編を検討するのか。

**子育て支援課長** 子どもたちが集団生活の中で育つ環境整備、3〜5歳児は、各年齢で1クラス20人程度が望ましい。地域の子育て支援の拠点としての運営、通園しやすい環境整備を主に捉えて検討

**町長** 答申の中で何パターンかのシミュレーションをつくり、将来を見据え、いろんな角度で検討する。例えば1クラス20人の場合、地域における影響等を捉える。

**問** 再編計画をどのように策定していくのか。

**子育て支援課長** 庁内でシミュレーションを

作成し、議会等から意見を伺う。これを繰り返し、年度末に向けて再編計画を策定する。

**問** 議会、地域、町民の方に示し、全町挙げての計画策定としていただきたい。

**町長** しっかりと地域に入り意見を聞いていく、また理解を求めていく。



**【その他の質問】**  
**問** 「永の里」事業への町の対応は。  
**答** 地域経済牽引事業への補助事業は、年度途中に打合せし進捗を管理する。関連事業は、事業者の協力を得て地元との協議を重ね進めている。

**問** 地元への定期的な事業の進捗説明の実施を事業者に伝える。  
**答** 禅文化と地域資源を生かした交流拡大プロジェクト、町の文化祭等で重要文化財の周知等に取り組み、地域活性化、交流人口の増加を図る。

# 問 四季の森の今後の生かし方3点

## 答 感動的結婚式できるかも



松川 正樹 議員

**問** 1点目は無人自動車関係やIoT関係の企業に買ってもらうか、借りてもらうか。一番可能性は高い。提案の優れた企業にセッティングしてお願いできないか。

**2点目**は仏前結婚式のメックだ。結婚式の会場は傘松閣。披露宴会場は元の図書館。町内のお寺様にご協力を願う。仏前結婚式は格調高く、感動的。その第1号は「えい坊くん」の結婚式。お相手は全国の女性のゆるキヤラさんから応募するか、門前の案内所のパネルに登場してくる「小梅ちゃん」。私は

何年前かに聞いた大本山永平寺のお膝元らしく、駒澤大学の付属高校をこの山の上に誘致したいという話が下敷き。

**町長** 私も四季の森を



四季の森文化館の傘松閣

小梅ちゃんが一押し。町の婚活と少子化対策の象徴的なPRにもなる。

**3点目**は小中学校の統廃合論に絡んで、中学校の合併論がままあるが、この山の上はその受け皿になる。グラウンドも体育館もある。四季の森は宿舎にもなる。安上がりのメリットはある。

# 問 吉峰寺キャンプ場について

## 答 ニーズを捉え、利用者増を



酒井 和美 議員

**問** GW10日間の利用者数は。  
**商工観光課長** 21件94名。

**問** 20cmほどの草が生えていた。連休前に草刈りしないのか。  
**商工観光課長** 4月14日に行った。例年6月と9月に実施。

**問** H29年度108万円の修繕費とは。劣化した外壁と屋根は塗り直せないのか。



経年劣化したトイレの外壁

**問** 看板が足りないのでは。  
**商工観光課長** 中部縦貫道から観光施設への案内看板設置を考えた。キャンプ場についてはドッグランと併せて看板修繕を予定。

**問** インターネットでのPRが消極的では。  
**商工観光課長** 受け入れ体制を整えた上でPRを強めたい。

**問** 吉峰寺キャンプ場の強みをどのように生かし、利用者数を増加させるか。  
**商工観光課長** フリーサイトの区画は自由度が高い。地元と協議の上、維持管理体制、情報発信の課題を整理し集客数を増やしたい。

**問** 中部縦貫道や勝山街道、道の駅からすぐ近くにあるという強みを

結婚式にと考えたことがある。楽しく考えることはいい。

**総合政策課長** 四季の森は基本的には日常的な活用としてIoT推進の拠点にしたい。仏

前結婚式は傘松閣の広間の非日常的な活用

**【その他の質問】**  
**問** 町創生総合戦略で、ラッキーの問題を再び問う。  
**問** 松岡公民館の運

営を憂う。  
**問** 禅シンポジウムのあり方は。  
**問** 庁舎内全面禁煙を厳しく。

を生かし、山で活動する若者を対象に、新しく開業支援の視点を持ち体制作りしては。

**町長** キャンプスタイルは以前と今では大きく変化している。ニーズ

ズを捉えた体制にした

**【その他の質問】**  
**問** 地域交通の利用促進として大手検索サイトへの情報連携は。  
**答** 県がとりまとめ

**問** 今求められる社会人の学び直しについて。  
**答** 町民の実生活に即した生きがいと学び直しの提供を。



### 問 高齢者が住み続けられる政策は



伊藤 博夫 議員

### 答 在宅支援、フレイル予防事業など

問 老老介護等が進んでいるが、実態の把握は。
福祉保健課長 介護サービスの利用状況や情報提供、在宅福祉サービスの利用時に世帯の状況を把握している。また、地域包括支援センターが活動し、民生委員さんからの情報提供を得て、対応している。



地域包括ケアシステム

生活援助、家事援助、健やか介護品支給事業等の支援をしている。
問 介護離職といった問題があるが、どのような対策があるのか。
福祉保健課長 介護休暇制度の浸透は、企業側の対応がまだ不足しており、包括センターからの情報によると介護離職という事例はない。

### 問 親子で楽しめる、設備(広場)等の整備を



齋藤 則男 議員

### 答 子どもたちが集まる遊具については、前向きに検討



木製遊具

問 親子がそろって、一日または半日、遊び楽しむ施設や、設備(大型遊具等)が町内にはない。
町内には多くの屋内屋外の公共施設があるが、その中に、親子でお弁当をもってゆつくりと楽しく過ごせる施設・設備等の整備に取り組んでいただきたい。

で、親子で楽しめる施設や設備等、一か所ぐらいあってもいいのではないかと思う。取り組む気持ちがあるのかどうか。
町長 子どもたちが集まる遊具については、前向きに検討している。どこに設置するか今調査をしている。
建設課長 松岡公園開園から2か月、利用された方々から遊具設置の声を聞いている。設置に向けて今後取り組んでいきたい。

◆サンサンホールの活用
問 今の管理体制はどのようになっているのか。
生涯学習課長 基本的に施設管理は、シルバ一人材センターに委託している。
問 町民のための文化の施設として、その目的に沿った今後の活用

### 問 中高年ひきこもり対策の急務を

### 答 連携プレー意識し丁寧な対応をする



上田 誠 議員

問 中高年ひきこもりが61万人。きっかけは多岐であるが、社会的ストレスの要因や一度外れると戻れない社会構造も否めない。社会や支援との繋がりがなく孤立した実態がある。県や町の調査は。
福祉保健課長 県の報告は無く、町の調査も行っていない。

問 対応にあたり県はひきこもり地域支援センター、町の対応はどのような。また県や庁内の連携は。
福祉保健課長 支援体制として専門のスクラムふくい、健康福祉部やひきこもり支援センターにつなぎ、全体把握も念頭に置き連携プレーと丁寧な対応にあたっていく。

シンを使った筋トレ、マシンを使わない筋トレ、いきいき百歳体操、サロン事業、認知症検診に取り組んでいる。

問 高齢化からくる様々な課題に対し、今後どのように取り組まれるのか。
福祉保健課長 町ではフレイルサポーター養成講座を通して、栄養状態、運動状態、社会

参加の状況、生活改善の必要性等、虚弱状態を早期に発見するよう予防事業と自己啓発に取り組んでいる。

◆SNS・ゲーム対策は必須急務
問 スマートフォン所持率小学生50・4%。中学生62・5%。SNS利用率は幼児64%。小学生72%。中学生85%。内訳はゲーム動画が60%以上、写真等30%ほどプラス、メールやLINE。幼児は親と一緒に。小学生は一人や友達と一緒にの時に変わり、時間も1時間までが小学生37・3%、中学生31・8%。1時間以上が小学生24%、中学生49・5%。ネット依存は51・8万人で生活破壊にもなっている。当町の現状把握は。

方法について、このままの状況でいいのか、新たな活用の考えや計画はあるのか。
町長 合併当初から見ると今ようやく町のいろんなイベントを行う

ことが認知されてきたと思う。
町を代表する大きなホールという位置づけで今動いている。
生涯学習課長 町の貴重な専用の文化会館

握は。
学校教育課長 所持率小学6年生36・1%。中学3年生42・4%。利用時間2時間以内に抑えている小学6年生79・5%。中学3年生77・3%。
問 SNSが子どもから奪うのは時間。遊び、学習、睡眠、家族団らん、何より心の成長や物事を考えない自分にと。保護者の要望は専門家による相談や助言が多い。対策は必須急務と考えるが。
教育長 学校ごとに啓発活動やルールを定め対応している。今後は学校だけでなく保護者



学校ではスマートルール作りひまわり教室でSNS対策

【その他の質問】
問 民生委員の活動支援サポーター体制(共生社会)を。
答 住民と協力して共生社会を目指していく。
問 O157対策にペーパータオル使用を。
答 共用でなく各自のハンカチで対応している。

### 問 高齢者も安心して暮らせる地域づくりへ

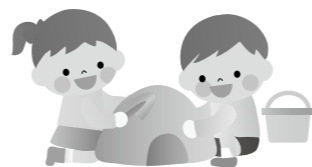


金元 直栄 議員

#### 答 全庁体制で取り組みたい

**問** 町長は所信で、地域包括ケアシステムの充実と支える地域づくりを担当課任せではないかと。全庁で取り組みたいとした。だが、実際の取り組みには差がある。どんな体制で取り組むのか。

**町長** 今まで地域包括ケアシステムの整備へ、福祉保健課や社会福祉協議会、各法人と共に取り組んできた。町立診療所も開設する。これからは福祉部門だけでなく、全庁で取り組むべき時代になっている。



**問** 町長自身も今までの捉え方とは一段アップして臨むということ。

**町長** その通りだと思います。

**◆町幼児園等再編への答申が問題**

**問** 答申は大人の都合による方向への誘導とはなっていないか。文中、多様な考えを持った友達と「切磋琢磨」することで主体的に学びを広げ深める：や、遊びを通して規律性、協調性、社会性を身につける環境として、3歳以上は20名程度の集団が必要：という。個性もない保育で良いのか。発想が異常ではないのか。

**子育て支援課長** まず子ども達の将来の

### 問 持続可能な公共施設



滝波登喜男 議員

#### 答 現実を見据えて協議

**問** H29年に策定した公共施設総合管理計画では、施設の縮減目標を40年間で延べ床面積の36%減としている。毎年町立図書館に匹敵する建物を減らすというところで、現実的に無理がある。しかし人口減少している地方にとって大事な問題で、住民に理解いただくための情報発信をして、意識改革に努めることが重要と考えるが。

**町長** 現実子どもが減っている。増やす努力はしているが、社会全体が減っていく。現実を見据えた中で公共施設編成の取り組みが大事で、学校適正配置検



シルバー・セーフティドライビング講習の様子

**問** 全国いたるところで子どもの尊い命が奪われている。大人が子どもを守る義務があるが、集団登校やスクールバスでも守れなかった。一体どうすれば良いのか。先生方も相応な対応をしているのか。

**学校教育課長** 校外教育では必ず複数の教員が引率。部活動の遠征は全てバス会社に委託している。

### 問 桜の聖地 恋人の聖地 松岡公園復活を

#### 答 桜名所・眺望・歴史を感じる憩いの場所へ



奥野 正司 議員

**問** 社会資本整備交付金事業で2億4千万円余を投じ3月に供用開始の松岡公園。桜の名所復活を期待した町民も多かった。入園者数は把握しているのか。公園へ上がる道路が一部未舗装のまま、ぼんぼりが途中で消滅し暗い道路等改善点があった。公園を愛する町民からの改善要望や提案を、町はどう生かし今

**建設課長** 入園者数は把握なし。松岡公園要望には、桜の木のライトアップや、ぼんぼり延長、遊具設置、バーベキュー対応などがあり、これらの声に応えられるよう取り組んでいく。

**問** 松岡公園と古墳群や遺跡、街並、えい坊館等と連携した、松岡活性化資源としての町



桜の名所復活が期待される松岡公園

**の方向性は。**

**建設課長** 松岡公園は桜の名所復活として整備した。お花見スポット、眺望のすばらしさ、自然を楽しむ、歴史を感じる憩いの空間を提供していくなか、

**問** 桜の名所、恋人の

**町民交流の場として自由に利用していただき、町の活性化資源となれるよう、関係各課協力しながら松岡公園の利用増進に努めていく。**

**聖地に欠かせない眺望開発は。**

**建設課長** 今でも素晴らしいが左手が木々の枝等有り180度眺望は望めない。出来るものから取組む。

子育てをどのようにするべきから、保護者、地域、保育の各立場から真剣に議論したものだ。

H29年改訂の保育指針では、教育と保育を

一体的に行うとなっている。主体性、人間性また感情や表現力を幼児期の間に育んでほしいことから、一定の集団の中で子どもたちが学び合う、競い合う経

**【その他の質問】**

**問** 本町の学芸員が退職したことから本町の文化財保護行政はどうなるのか。

**◆コミュニケーション重視の人材確保**

**問** 優秀な人材確保が難しい時代、採用されて数年の職員が転職しているが、その原因を分析したか。民間企業

はコミュニケーションを重視し、面接や先輩後輩の関係作りと様々な手立てで良い人材を確保している。

**町長** 数年前から民間経験のある専門職員を

採用している。また、一次試験での適性試験のポリウムを増やし、その結果も重視する。公共団体なので公共性を保ちながらいろいろ考えていく。

**【その他の質問】**

**問** マレットゴルフの聖地松岡河川公園の護岸浸食対応は。

**答** 護岸ブロック崩壊状況は国交省へ確認。継続監視し対応。

**問** ルールに従う自治体平均1億円のふるさと納税、本町は差引マイナス。

**答** H30年度859万円受入。今年目標1000万円、体験型返礼品含め工夫を凝らす。

《町立在宅訪問診療所と  
地域が支え合う地域づくり》

**問** 町立診療所の運営費、開院後の収支見通しは。 【吉野集落生活改善センター】

**議会** 初期投資に1億4000万円、10年で回収を見込む。

町全体で要介護3～5の認定実数合計445人に統計上の介護度別訪問診療割合を掛けて想定人数を算出し、町全体での訪問診療患者数を120～130と算定。これを基に町立診療所の訪問診療患者数を月訪問実患者数80名（月2回往診）とし、外来患者32名／日、夜間休日訪問6名／月を加算し医業収益を算定。変動費見積はH27年度医療経営実態調査より算定し材料費比率を24.0%、その他経費は同統計値より推定し、外来収益の16.3%とした。3期目より訪問リハビリと訪問看護サービスも開始し、原価償却費は建物設備1億円、医療機器等3600万円を計上。以上を基に試算し、開院後10年目に医業累積損失を一掃し若干の営業黒字となる試算。

**問** 町立診療所は開設したのか。診療体制は。 【高橋生活改善センター】

**議会** 8月1日開所予定。場所は御陵幼児園の西隣。内科（総合診療）の診療所で、午前は外来診察、午後は訪問診療を行う。スタッフは福井大学の指定管理による施設運営で、福井大学病院より医師3名（常時2名体制）、看護師3名、事務2名が派遣される体制。

**問** ①一般の診療所と外来診察は同じか②誰でも外来は行けるのか③訪問診療に年齢は関係ないのか④町外でも訪問診療利用できるのか⑤診療所行きコミュニティバスも変わるのか⑥上志比、永平寺地区は直通バスあるのか 【各会場共通質問事項】

**議会** ①午前中の診療は、町内の診療所やクリニックと同じ扱い②保険証を持っている人なら誰でも利用可③若くても重病、難病などで外来に行けない人は、医師や本人、家族の同意があれば年齢に関係なく訪問診療の契約ができる④訪問診療の範囲は半径16kmとなっており、福井市、坂井市からも利用可能⑤現在ダイヤ改正にはなっていない。今後、来院者の利便性確保や実情に合わせ対応が必要な時、行政に改正要請。コミュニティバス松岡のバス停は改善センター徒歩1分⑥上志比か

町民の声を議会へ  
ダイジェスト版  
**議会と語り合**  
(※ 質疑内容抜粋)

**町民からの質問・要望等への回答**

平成31年4月23日24日25日 実施

町内9会場で開催し、3日間で延べ101の方が会場に足を運んでくださいました。

「町立在宅訪問診療所」「地域公共交通機関の利便性」

らは現在の福井大学病院行き直通コミュニティバス1日2便を利用すると福井大学病院下車徒歩数分。



議会と語り合うの様子

《地域公共交通機関の利便性向上について》

**要望** 上志比から直接福井大学病院へ行く便が欲しい。 【藤巻集落改善センター】

**議会** 山王駅前9:00、11:15分発で、志比北経由の福井大学病院行き直通コミュニティバスが、毎日2往復ある。

**要望** 北地区のコミュニティバスは永平寺口経由になるが、実際の目的地は福井大学病院やエルパである。そこへの直通が欲しい。

【吉波生活改善センター】

**議会** 上志比コースの山王駅前発～北島停車～福井大学病院直往便と、山王駅前発～志比北各所停車～福井大学病院行き直通バスが往復2便がある。

**問** コミュニティバスのバス停看板や時刻表の管理はどこがするのか。破損して危ない。 【領家集落センター】

**議会** 破損等に気付いたときは役場総務課へ連絡を。(TEL61-3941)

**問** 高齢者になって免許返納で車での移動ができず、医者へ行く、買い物に行くのが困難である。コミュニティバスで行っても荷物を持って帰るのが大変である。町としての対応はどうか。 【高橋生活改善センター】

**議会** コミュニティバス以外の移動サービスが各自自治体で取り組まれている。ワゴンタイプの車を、地元の有償ドライバーが地域の人の予約に応じて玄関先まで送迎するドア・ツードアの運行～自家有償旅客運送～の提案がされている。

**意見** 上志比地区のコミュニティバスの乗降者数は、ほとんどスクールバスの子どもの人数だと思う。小さなワゴン車を走らせ集落の中まで走らせた方が良いと思う。バス停まで行くのが辛いから利用者が少ないのだと思う。 【牧福島集落改善センター】

《その他》

**意見** お年寄りの散歩道でもある五松橋が危険。物損事故が2件あった。地区要望も出しているが、死亡事故が無いと見直さないのか。五松橋、朝の通学時間帯、信号を渡る所に中

学生が10人程待っていてとても危険。何とかして欲しい。  
折角きれいになった松岡公民館、筋トレ、100才体操をしたいが機器が揃わず出来ない。機器を充実して欲しい。 【松岡公民館】

**議会** 五松橋、大型トラックが頻りに通行する今ではとても狭くて危険で、架け替えが必要な時期に来ていること、同橋南詰では道幅が狭く物損事故が多発していることは行政も十分把握し、県に改善要望を上げていることと認識している。早急な対策を実施すべく県へ強く要望するよう再度行政に確認する。また、筋トレ等の機器整備については行政に今後の計画を確認する。

**要望** 空き家バンクに登録して貰って相談に乗って欲しい。 【芝原2丁目 摂取寺】

**議会** 空き家バンク登録や付属資料については役場建設課が窓口。これまで30件余の登録があり80%程度の売買・賃貸が成立している。

**問** 防犯のための監視システムの充実はどうか。 【芝原2丁目 摂取寺】

**議会** 防犯カメラの犯罪抑止や犯罪解決への有効性が認められ、県警も防犯カメラ設置を推奨している。本町でも6月、自治会が区民同意を得て新規に防犯カメラを設置する場合、10万円を限度とする設置費の全額補助制度の創設案を策定。

**要望** 吉野地区は福井都市計画区域で市街化調整区域となっているため、住宅建設が難しい。都市計画区域の変更を。 【吉野集落生活改善センター】

**議会** 規制改正は難しいが、関係機関への話し合いは進めている。

**意見** 人口減を食い止める施策が必要。子育ての町もいいが、18歳になってから後の、子どもが故郷へ戻って来る、故郷に住むようにすることが大事。 【けやき台地区公民館】

※紙面の都合上、掲載できなかった  
質疑内容・回答は後日ホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所でご覧いただけます。

永平寺町議会 検索



# 議会・各委員会の議員出欠状況

平成31年4月2日～令和元年6月20日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	松川正樹	上田誠	中村勘太郎	金元直栄	滝波登喜男	齋藤則男	奥野正司	伊藤博夫	長岡千恵子	川崎直文	酒井和美	酒井秀和	朝井征一郎	江守勲	
出席回数	26	23	23	19	26	19	22	19	22	24.5	22	22	19	19	
会議回数	26	23	23	19	26	19	22	19	22	26	22	22	19	19	
出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	100%	100%	100%	100%	
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事												
1	4/2	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍
2	4/5	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	×	○	○	—	傍	
3	4/10	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	4/10	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	○	—	—	傍	
5	4/19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	4/23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	4/25	議会改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	5/9	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	傍	○	
9	5/10	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	○	—	—	傍	
10	5/10	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	傍	○	
11	5/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	5/22	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	傍	
13	5/27	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	5/27	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	6/3	本会議(一般質問初日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	6/4	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	6/5	本会議(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	6/5	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	6/6	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	6/6	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—	傍	
21	6/10	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	傍	○	
22	6/10	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	傍	○	
23	6/11	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	6/11	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	6/13	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	6/13	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	6/13	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	傍	
28	6/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

傍聴にお越しく下さい

## 9月定例会 (予定)

生中継

- 9月 2日(月) 10時～ [本会議]
- 9月 9日(月)・10日(火)・11日(水) 10時～ [一般質問]
- 9月 12日(木)・13日(金)・19日(木) 9時～ [補正予算審議]
- 9月 24日(火) 10時～ [本会議・採決]
- 9月 25日(水) [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。  
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

★エレベーター完備

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!

4/21  
町民清掃の日



町の美化推進に協力

6/2  
水防訓練



水害発生時の対応訓練

6/2  
「ふれ愛フェスタ」  
社会福祉協議会



社会福祉大会参加  
福祉の実態を見学

5/13  
安全な登校  
見守り活動



早朝の登校見守りの実施

6/17  
グループウェア研修



議会もIT化を目指して研修

5/23  
地域包括センター  
意見交換会



高齢者福祉向上にむけて意見交換

駅なかカフェ視察



認知症予防の交流

視察

6/24  
筋力トレーニング視察



筋力維持に頑張る参加者

教育民生常任委員会視察



健康寿命延伸。いつまでも元気ハツラツと

100歳体操視察

# モットーは エンジョイバドミントン

指導者や仲間との絆を深めること、家族への感謝の気持ち  
そして何よりバドミントンを好きになってもらいたい

## ◆松岡バドミントンスポーツ少年団とは

当スポーツ少年団は30年以上の歴史があり当時を知るものはありませんが、現在は8名ほどの経験のある指導者が子ども達にバドミントンの楽しさや面白さ、ときには厳しさを伝えています。

## ◆絆・感謝・大好き

松岡小学校と永平寺中学校の体育館を練習の拠点に週4回、町内の小学生43名と中学生8名が練習しています。試合に勝つことだけでなく、バドミントンを通じて指導者や仲間との絆を深めること、家族への感謝の気持ちそして何よりバドミントンを好きになってもらいたい、向井監督のモットー、エンジョイバドミントンで指導しています。

## ◆選手に合わせた指導

指導者が多いので初心者から上級者までレベルに合わせて指導できるのは特徴の一つです。また、永平寺町では女子に人気があるようで約半数以上が女子の団員で構成されています。

## ◆中学生も受け入れ実施中

団体スポーツと違ってバドミントンは個人競技。国内トップ選手の活躍もあり全国的に競技人口は増加傾向にあります。入団した当初から全員が選手でありライバルです。取り組みやすいスポーツという面も競技人口増加



町民バドミントン大会での1枚  
子ども達は一所懸命持てる力を発揮していました

の要因です。また昨今、少子化により中学校での部活動は減少傾向にあり、生徒たちの選択肢が削られているのが現状です。当スポーツ少年団ではチームの意向で中学生の受け入れも開始。中学生になっても続けたい、バドミントンを始めてみたいという方は是非相談して頂きたいと思います。（酒井秀 記）

## ◆お問い合わせについて

気になる方は下記会場へお越し下さい。  
毎週水曜日 17:00～19:00 松岡小学校  
毎週水曜日 19:30～21:00 永平寺中学校  
(担当 向井)

## <がんばる団体募集中!!>

小中学生が活躍する団体募集中!  
詳しくは議会事務局まで。TEL:61-3950

## 編集者のひと言

元号が「令和」となりました。「令」とは「よい」という意味。「和」とは「なごむ やわらかく」という意味で「国民が穏やかな 佳き心で 和やかに暮らす平和な時代へ」との願いが込められています。

しかし、悲惨な事件や事故が絶え間なく発生しています。本町においても、繊維工場の火災により多くの死傷者が発生しました。心からご冥福とお見舞い申し上げます。

「令和」の名に相応しい時代とするため、弛みない努力をしなければと、改めて決意しました。（滝波 記）

### 議会広報特別委員会委員

委員長 奥野正司  
副委員長 松川正樹  
委員 滝波登喜男・長岡千恵子  
川崎直文・酒井和美  
酒井秀和

### 発行責任者

議長 江守勲